

知事談話

【異動の規模等】

本日、4月1日付けで総数1,265人の人事異動を発表いたしました。平成24年度は、5つの基本政策をはじめとする県の取り組みを土台として、本県を時代の後押しを得られる課題解決の先進県とするための新たな挑戦を行っていく年、「飛躍への挑戦の年」となります。このため、今回の人事異動では、取り組みの熟度をさらに高め、県勢浮揚の確固たる成果を導き出していく県庁組織とするための職員配置に努めました。

【庁議メンバー】

部局長級である庁議メンバー19名のうち4名が定年などにより退職することや、中山間総合対策本部の事務を総括し、現在の理事（交通運輸政策担当）の業務も併せて所管する理事（中山間対策・運輸担当）を配置するほか、新たなメンバーとして、理事・大阪事務所長が加わることなどから異動対象は9人で、本年度に比べ1名増の20名体制となります。

【組織体制】

組織体制については、バージョンアップした産業振興計画や、健康長寿の取り組み、南海地震対策の加速化といった主要施策はもとより、これらの施策を融合させた全庁横断的な中山間対策などを強力に推し進めていかなければなりません。このため、これをなし得る効果的で重点的な編成と人材配置に意を尽くしました。なかでも、

- ・ 総合的な中山間対策を全力で講じていくため、新たに理事と副部長職を置き、若手の幹部職員を登用するとともに、「中山間地域対策課」を設置
 - ・ 南海地震対策のさらなる抜本強化に取り組むため、副部長職を1名増とするとともに、「南海地震対策課」の体制を増強
 - ・ 官民協働で本県観光全体の飛躍をめざすため、高知県観光コンベンション協会に新たに理事と課長級2名の職員を派遣
- するなど、緊急性の高い分野の態勢強化を図っています。また、人材配置に当たっては、幹部クラスをはじめとする、いわゆるポスト職へ若手職員を登用し組織の活性化と次世代の育成を心がけましたほか、適性や、能力に応じた適材適所の配置で、組織としての力量をもう一段押し上げることにも意を用いました。

【職員への期待】

多くの県民の皆様が県勢浮揚の実感をもっていただくため、適材適所の人材配置により、すべての職員が、県庁組織の横の連携にも十分に留意しながら、県政の様々な課題に対して最大限のパフォーマンスを発揮できるよう、強い意志をもって取り組んでくれることを期待しています。